

島根県立農林大学校要覧

—Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry—



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立
- 昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
- 昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- 昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- 昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
付属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 林業科飯南町（中山間地域研究センター内）へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設



教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none">● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none">● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、森林管理技術者になるための専門学習に特化● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	30人	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
	肉用牛			
林業科		10人	飯石郡飯南町上来島	

有機農業専攻



全国に先駆け新設した本専攻は野菜、水稻について有機農業の理念、土づくり、病害虫防除法、雑草の防除などの基礎技術を学びます。また、県内外の先進的に取り組んでいる有機栽培農家（サテライト校）の協力を得て事例講義や体験実習を行うほか、有機JAS認証の制度学習や実務を通し有機農業の新たな担い手を育成します。

野菜専攻



本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しまね認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売までの一貫した栽培技術と経営感覚を習得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育、トルコギキョウの島根県特許技術など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

果樹専攻



本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

肉用牛専攻



優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身につけます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身につけ、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

在校生からのメッセージ

有機農業専攻2年 森 仁美

私が農大を志望した理由は、将来生産者と消費者をつなぐ販売員になりたいと思っていたからです。農大で農業に関する知識を身につけ、それを販売につなげていきたいと考えています。また、安心安全な農産物を消費者に届けたいと思うようになり、有機農業に興味を持ちました。

実習では、化学農薬を使わず天敵などを利用して、害虫被害を抑えます。また、化学肥料を使わず、身近にあるワラ、米ぬかや刈草などを堆肥化することで作物を立派に育てています。

平成25年に農大の水田で有機JAS認証を取得しました。これにより、有機JASマークを商品に貼付できるようになり、一目で有機農業に取り組んでいることがわかるようになりました。生産面では、近隣からの農薬流入防止策や、化学農薬・化学肥料を使わなくても丈夫なイネができる有機農業への意識が一段と高まりました。

私が一番うれしいと感じるのは、イベントで直接お客様と会話して、自分たちの作ったお米や野菜を納得して買って、喜んで食べてもらえた時です。

有機農業専攻は個性豊かな仲間たちでいっぱいです。一緒に農業を楽しく学んでいきましょう。＼(´▽`)／



野菜専攻2年 尾木 涼太

私が所属している野菜専攻では、忙しい中にもみんなで協力しながら、トマト・メロン・イチゴ・葉もの野菜などを栽培しています。

1年生の時には、講義で農業や野菜栽培の知識を学び、実習では先輩達の栽培している作物を手伝う中で、栽培管理、収穫、調整、出荷の作業を習得します。

1年生の夏からは栽培したい作物を決めて、実際にほぼ一人で管理します。計画をたて、作業するのは難しいことですが、先生にアドバイスをしてもらいながら、日々生長

する作物からいろいろなことを学ぶことができます。

収穫したものは、青果市場に出荷するので、一人一人が責任を持って栽培することを意識することも学びます。

1年生の終わり頃からは、それまで学んだことを活かして、自分が栽培したい作物や研究テーマを定めて卒論プロジェクトに取り組みます。自分が栽培したい作物や品種を選び、栽培方法なども自分で考え詳しく決めて行うので、いろいろ勉強になるし、自分でやることのできるの楽しいと思います。

体育館や運動場も自由に使えるし、季節毎に球技大会もあります。少しでも興味がある人は体験入学に来て、農業を経験して、結果的に入ってきてくれると嬉しいです。

花き専攻では、トルコギキョウ、キク、アジサイ、シクラメンなど多くの品目を栽培しています。

私は、農大に入るまで農業に関する知識がほとんどなく、入学当初は分からないことばかりで不安でしたが、先生や先輩方に丁寧に指導していただき、1年でかなりの知識と技術を身につけることができました。

実習では種まきから日々の水やりやハウスの管理など、すべて自分たちで行います。作物の様子を観察して病気が出ていないか、虫がついてないかなど点検するのは大変ですが、自分の手がけた花が咲いたときは言葉では言い表せない感動、そして達成感がありました。また、花き専攻では年に3回ほど自分たちが育てた作物を販売する機会があります。この販売会ではお客さんがどのような物を買いたいと求めているのかを見たり、お客さんに聞いたりできるので新たな発見が多くあり、また自分が育てた花を買っていただいた時の達成感もあるので楽しいです。



花き専攻2年 漆谷 昌哉

私は将来、自営就農を目指しています。将来役に立つ資格なども農大ではたくさん取得できるので、頑張って取得しさらに技術向上を図っていきたいです。農業に興味のある人はぜひ農林大学校に来てください！

イベントカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入学式	鳥取農大交歓会 春季スポーツ大会	就農ガイダンス	農大祭 就職セミナー	オープンキャンパス	オープンキャンパス	前期試験 先進農林業者体験学習(2年)	中国地区農大生の集い 県外(大阪)学習(2年)	秋季スポーツ大会	日本農業技術検定 卒論課題発表会	冬季スポーツ大会 中国四国農業大学校プロジェクト発表会	就職セミナー 全国農業大学校プロジェクト発表会	卒業式 後期試験

私は高校時代は野菜の勉強をしていましたが、果樹栽培に興味を持ち果樹専攻に進学しました。

1年次では、作物栽培の基礎から学習し、農業機械、経営など農業全般のことを勉強します。実習では2年生と一緒にぶどうの花穂整形、ジベレリン処理、剪定など様々な実習をしました。

果樹専攻では、ぶどう、かき、いちじく、梨など様々な作物を栽培しています。ぶどうだけでも多くの品種があり、幅広く学ぶことができます。栽培も新しい技術を取り入れ、多くの知識や技術が身につきます。もちろん失敗することもあります。先輩、先生方に助けをもらいながら楽しく作業しています。

私の家は非農家ですが、将来自営就農を志望しているので、達成するためにこれからも頑張っていきます。農業に興味のある人は是非農林大学校に来て下さい。



果樹専攻2年
成相 燎

私は牛が好きです。牛について、いろいろなことを知りたくなり、この肉用牛専攻に入学しました。普通高校出身ですので、最初は分からないことだらけでした。しかし、この1年間、先生や先輩方から丁寧な指導を頂き、現在では、800kgもある肥育牛を自由に扱える知識や技術が身に付きました。肉用牛専攻での主な実習作業は、牛の一般管理と圃場管理の2つに分けられます。一般管理は、繁殖、肥育、子牛への飼料給与や床替えなどです。圃場管理では、トラクターなどの大型作業機械を運転して、イタリアンやスーダンを刈り取り、集草、梱包、ラッピングを行い、サイレージを生産します。入学当時は自動車免許も持っていませんでしたが、現在では大型特殊自動車免許まで取得し、大型作業機械をある程度自由に乗りこなすまで成長しました。肉用牛専攻では、肥育牛や子牛を出荷します。自分たちが育てた牛が高値で販売できた時は大変うれしいですが、反面、育てた牛を出荷するのは寂しい気持ちにもなります。入学時は分からないことだらけの私でしたが、この1年で大きく変わったと思います。学校では、社会に出て役立つ資格が沢山取得できます。牛に興味のある人、是非来て下さい。



肉用牛専攻2年
高橋裕太郎

私は飯南キャンパスにある林業科に在籍しています。

林業科では、森林組合や林業事業体で働くために必要な知識と技術を、講義や実習で学んでいます。また林業作業に必要な免許や資格を数多く取得します。

講義で、森林の育成管理、木材の利用やきのこ栽培などに関する科目があり、幅広い知識を習得することができます。

実習では、木の伐採、林業架線や高性能林業機械の操作など初めて体験する実習が多くあります。最初は、炎天下での下刈りなど辛い実習もありましたが、仲間と一緒に作業することで、最後まで頑張ることができました。初めて使ったチェーンソーで上手に木が倒せたり、丸太切りができた時は、とても嬉しく感じるとともに、やりがいを感じました。

林業の実習は斜面で転んだり、使用方法を誤れば刃物だけがをしたり、危険な一面もありますが、わからないことや安全な作業方法は、先生方がやさしく教えて下さるので、技術を身に付けることができます。また、普段の生活で困った時は、個性豊かな先輩方に相談にのってもらったりしました。

学校は2年間という短い期間ですが、仲間と一緒に頑張り、知識と技術を身につけて、林業の現場で活躍したいと思います。



林業科2年
深石 翔也

キャンパスライフ

快適な寮室内



清友寮



飯南寮



友波寮



楽しい学食での食事

キャンパスや地域でのひとコマ



教育科目

農 業 科	共通科目	農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、情報処理、農業基礎実習ほか	
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作） 地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習		
林業科		林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経営、林業機械、森林作業システム、野外活動、森林機能、森林路網、育苗技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習	

先進農林業者等体験学習

2年生時に、先進的農林業地域や農林家で行う体験学習です。

目的	農林業経営及び農林業での生活を体験し、農林業に関する知識や技術を習得するとともに、農林業の担い手としての意欲の醸成を図る
受入農林業者等	農林業後継者の教育に理解と熱意のある、優れた農林業経営を行っている農林業者、又は農業生産法人、林業事業体等
期間	農業科はおおよそ1か月、林業科はおおむね3週間

資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者
- ◇ボイラー取扱技能者
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農薬用品目）
- ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者
- ◇日本農業技術検定 ◇フラワー装飾技能士（2級・3級）

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師

●林業科

- ◇林業種苗生産事業者 ◇林業架線作業主任者
- ◇機械集材装置運転者 ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者特別教育
- ◇刈払機取扱作業者安全衛生教育
- ◇森林情報士（2級） ◇救急法救急員
- ◇車両系林業機械運転業務従事者特別教育

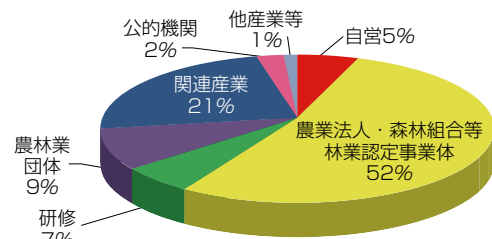
学校行事

- 農大祭をはじめ、球技大会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。（平成26年は7月25日、8月3日、6日）

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。



主な進路（H24、25年度実績）

- 自営就農：野菜、果樹、花き、水稻
- 農業法人等：アグリワン、奥出雲農園、あかつきファーム今在家、神田農産、阿郷の里、まるなつ農場、イオンアグリ創造、出雲製茶、島根農場、藤増牧場、潮風ファーム、来島牧場、松浦造園、三和農産、スプラウト島根、つがが農園、勝部農産、JA いずもアグリ開発、浜村園芸、だんだん牧場、中山農場
- 農業団体：農協（くにびき、雲南、やすぎ、石見銀山）、JA アグリ島根
- 森林組合等：（しまね東部、松江、出雲地区、大原、仁多郡、飯石、隠岐島後）、浦田木材、酒井材木店、ウッドヒル隠岐、林業公社
- 関連産業：ヤンマー農機、社会福祉法人 EGF、イセキ中国、しまね花の郷、大阪中央青果、島根米穀、NPO 法人もりふれ倶楽部、清和肥料工業、福花園、平田生花店、井ゲタ醤油
- 公的機関：松江市花きセンター、中山間地域研究センター

研修部門

農林大学校では、これから農業を始めようとする方などを対象に、各種の研修を行っています。
各詳細については別途お問い合わせください。



これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根県農業担い手育成研修	新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。	新たに就農する方 定員 4名	4月～翌3月
有機農業実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。	有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 10名	5月～12月 (週1回、全30回)
野菜実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。	島根県へのUターン者等 (予定者を含む) 定員 5名	5月～8月 (週1回、全16回)
技術講座	これから農業を始める方や就農して間もない方等を対象に、農業経営に必要な各種技術（病害虫防除、農業機械等）について集中的に講義を行います。	新たに就農した方等 定員 40名	冬期（2～3日間）

林業技術を高めたい方への研修

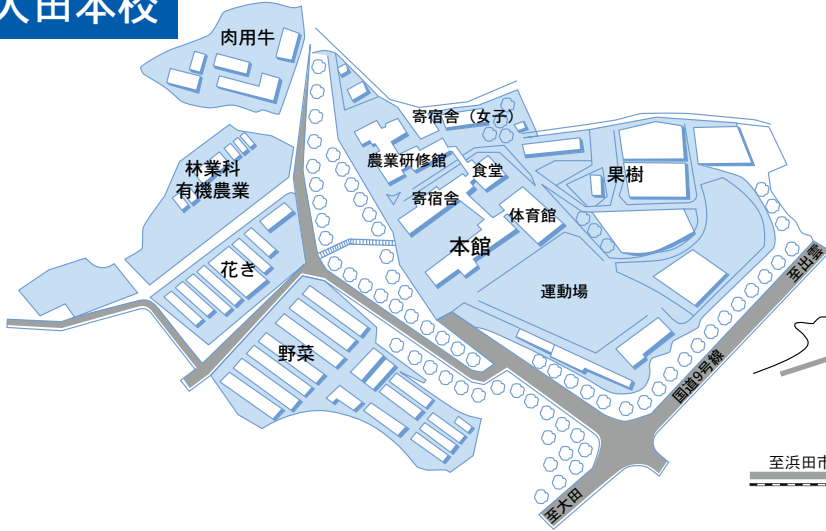
研修名	内容	対象者	開催時期
森林施業プランナー研修	森林の現場条件に適した路網計画や間伐方法等の森林施業の方針、利用間伐等木材の生産の事業収支を示した施業提案書を作成し、森林所有者に提示して合意形成することが出来る技術者を育成します。	認定事業体の職員等	12日間の研修を5月、10月及び12月に分けて実施
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、路網と高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入・運用に必要な専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材を育成します。	認定事業体の職員等	5月～12月の間にそれぞれの研修を3～8日間実施

その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
しまねの農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会との共催研修です。	県内小中高校教員 定員 30名	8月下旬（2日間）

農林大学校 施設・設備 配置図

大田本校



案内図

- ・波根駅から徒歩約15分
- ・大田市駅から約6km



清友寮(せいゆうりょう)

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。



友波寮(ゆうなみりょう)

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。



飯南寮(いいなんりょう)

飯南校から約3kmの地点にある学生寮(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

林業科(飯南校)



※飯南校は島根県中山間地域研究センター施設の一部を使用しています。

島根県立農林大学校

ホームページで学校の様子を随時掲載しています。
facebookでの更新もスタート!!
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)

〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113

(林業科)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103

E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko>